

「ご挨拶」

森田幸男 牧師

(「愛の家」運営委員会共同委員長、大阪北教会)

「和解と共生の道を切り開く」

神様のお導きのもと、全国の諸教会と多くの兄弟姉妹方のご支援を受け、浪速教会・愛の家の働きが支えられ、強められておりますことを心から感謝いたしております。

ご存知の方が多いと思いますが、浪速教会・愛の家には毎年、韓国の諸教会から幾組かの研修チームが訪

れます。そして日程が合えば、わたしたち大阪北教会が中之島公園で行っている炊き出しにも参加されます。そのような次第で、私たちは居ながらにして韓国の教会の若い兄弟姉妹たちとの交流の機会を与えておりますことは本当に有難いことです。

2年前の2月のことですが、韓国テグの三徳教会の研修チームの若い兄弟姉妹十数名と一緒に炊き出し奉仕を行いました。ほとんどが大学生でしたが、そのなかに12歳のヨセフ少年が混じっていました。韓国ではすでに春休みに入っていたのです。数時間を共に過ごしての別れ際、引率の先生がこう言われました。「ヨセフ君は、僕が死んだら、北教会の納骨堂に納めてほしいと言っています」と。その言葉を残してヨセフ君たちは帰って行きました。

わたしはヨセフ君の言葉に驚くとともに何とも言えない感動を覚えました。「ヨセフ君は、大きくなったら宣教師として日本に来るという示しを神様から受けたのだろうか。」或いは「ヨセフ君は、この教会に自分の帰るべき天の故郷を見出したのだろうか。」いずれにせよ、その日以来ヨセフ君は、その言葉によって日韓の歴史的溝を埋めてくれた和解の天使として、私には忘れえない存在になりました。

浪速教会・愛の家の働きは、神様の祝福を受けて、この十数年間に大きく進展しました。そしてこの奉仕の業は、何よりも日韓の和解と共生の道を切り開く最先端の働きであると私は思ってきました。それ故にこそ、今日までご支援、ご協力を頂いてきた皆様方と共に、

愛の家の働きに一層深くに与って行きたいものだ、と、今、改めて強く思っております。

「ご挨拶」

朴榮子 牧師

(KCCJ 全国女性会総務、豊中第一復興教会)

「小さなキリスト」

愛の家での奉仕をさせていただくようになって、早や8年目となりました。

愛の家に集う方々はその日の食物を求めて来られますが、その魂も渇いています。大きな声で讃美歌を歌う方、決して口を開かない方、最初から最後まで下を向いておられる方。どの方にも神さまの愛と癒しと救いが必要です。皆さまの尊いさげものを通して、彼らにキリストの愛をもって暖かい食事を提供し、魂の糧であるみ言葉を届けることができます。四旬節を迎え、キリストの十字架の苦しみと復活を覚えていきます。ここに集う方々が小さなキリストであることを覚えて、愛の奉仕をともに担っていただけるなら幸いです。

「楽しい理由」

父がしていた奉仕を引き継いで8年目、通算84回も奉仕をさせていただきました。思い起こせば毎月、父と母が午前中に出かけて帰宅は午後3時ごろ。ずいぶん長いなと思っていました。自分で奉仕をするようになって、両親が嬉々として通い続けた理由がわかるようになりました。

まず、集ってくるおじさんたち（たまには女性も、20代の青年も）から元気をもらえます。小さく低くされたイエスさまがそこにおられるからなのでしょう。「がんばりや」「ありがとう」と励まされ、勇気をいただけます。次に、「愛の家」の家族たち、教会員に会える嬉しさです。私たちの教会をいつも愛して、大工仕事などいろいろな心遣いをしてくださる応援団です。三番目には、み言葉をストレートに語る喜びを味わえます。寝ている人も、聞きたくなさそうな人もいますが、必ず吸い込まれるようにして聞いている人がいるのです。最後に、敬愛する金牧師夫妻と会える楽しみです。

通常の教会ならば、牧会にいろいろな労苦はあっても、信徒から受ける慰めや実を見る喜びもあります。しかし、「愛の家」の働きはひたすら与える奉仕です。雨の日も雪の日も炎天下でも炊き出しをし、夜回り、礼拝、人々に仕える働きに従事されている先生夫妻の顔を見てみると、自分の悩みなんてちっぽけで勝手なものだろうと悔い改めることばかり。慰めと励ましを受けて帰ってきます。

昨年、朝日新聞朝刊に「愛の家」が紹介され、韓国のキリスト教放送の番組でも紹介されたということです。休まずたゆまずコツコツと最も低くされた方々に仕えてきた働きを、主が喜んでくださったのでしょうか。多くの支援者が起こされることを祈っています。「はっきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」(マタイ 25:40)

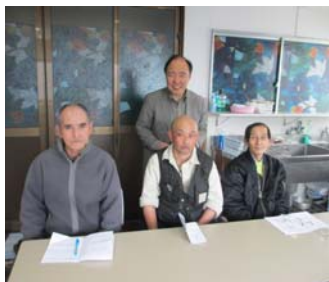


「愛の家」の風景

www.ainoie.org



①洗礼者教育



②金曜炊き出し会



③木曜伝道集会・日曜伝道集会



④衣類配布会



⑤シオン合唱団コンサート



⑥宣教チームの訪問



⑦越冬対策夜回り



⑧クリスマス祝賀会・キャンドル礼拝、洗礼式



「愛の家」近況報告

《宣教チームの訪問》2p 写真 6

今年も1月の初めから2月末にかけて毎年恒例の韓国宣教チームが来教しました。金浦ワールドビジョン教会宣教チーム(11名)、大邱中誠教会宣教チーム(11名)、韓日文化フォーラム宣教チーム(6名)、クミ(亀尾)市民教会宣教チーム(13名)、ダビデの世代宣教会中高生チーム(7名)の5チームです。毎年、チームは「愛の家」の活動を心に留め、来訪する度に日本の最も弱く、貧しい人々を愛し宣教や奉仕活動をしてくれます。又、チームは何ヶ月も前から野宿者や私達、日本の信者の為に讃美・ダンス・聖劇を準備し、失業者・野宿者に対して集会を通して伝道を行ってくれます。野宿者達の為に、深い愛と強い信仰心を持って奉仕してくれますので、集会に参加した人々がみな恵みに満たされ、喜びと感動を持って帰られます。チームの日本への情熱的な宣教活動によって、イエスを信じる人々が多く現われますようにと私達信徒一同、神様に切にお祈りしています。

《クリスマス祝賀会・キャンドル礼拝、洗礼式》2p 写真 8

昨年のクリスマス主日礼拝では、失業者・野宿者の方々と共に礼拝をしました。又、この日の為に一生懸命練習した教会学校の幼児達(4〜6才)が聖劇・歌・ダンス・楽器演奏等を発表してくれました。発表会では天使の様な幼児達が一生懸命演じている姿に感動と恵みを受け、失業者・野宿者の方々の中には目を潤ませている人もおられました。又、祝賀会では、幼児達とキャンドル礼拝を一緒に行い、幼児達の両親や地域の人達と共に立食とゲームで交わりながらイエス様のお誕生をお祝いしました。

昨年のクリスマス洗礼式では 伊藤賢和兄弟、伊藤耕一兄弟、岡田康兄弟、鈴木智子姉妹4人の兄弟姉妹達が洗礼を受け、神の子とられました。いつもは、洗礼を自ら受ける決心がつかず、迷う人々が多い野宿者の中で、今回は自ら「洗礼を受けます」と強い意志を持って、約1ヶ月の洗礼教育を済し、洗礼を受けられました。晴れて洗礼を受け、新しい信仰の旅立ちとなった4人は厳粛な式の中、緊張した面持ちで喜びと希望に満ち清々しさに溢れておられました。私達一同も洗礼を受けた兄弟姉妹達がこれからの信仰生活を一步一步と歩んで行く様に切に祈っています。

《木曜伝道集会・日曜伝道集会》2p 写真 3

木曜・日曜集会には100名近くの失業・野宿者の方々が来られます。木曜集会では午前 9:00 から礼拝が始まるまでは支援者から頂いたコーヒを飲みながらキリスト教関係のビデオ鑑賞やシャワーを使用したりしてリラックスされています。賛美の時間になると姜貞淑師母、岡田兄弟(木曜担当)と吉見姉妹(日曜担当)の「お帰りなさい」という挨拶から始まり、二人の素晴らしい歌声の導きにより賛美を合唱し、礼拝へと進んでいきます。礼拝は毎週、各先生方が説教の奉仕をして下さいます。奉仕して下さる先生方は当教会の金鐘賢牧師、申容燮副牧師を始め朴珍烈牧師(平野教会名誉牧師)、朴栄子牧師(豊中第一復興教会)、金景淑牧師(ホサナ教会)、全聖三牧師(布施教会)の先生方です。多くの兄弟達が礼拝を通して各先生方の恵み溢れる御言葉を聞き、感動を覚えイエスを信じる様に祈ります。そして、礼拝後は支援者から頂いた食材で調理された食事が配布され、参加者が共に交わりながら食事しておられます。兄弟達が帰る時に「行ってらっしゃい」と声をかけると「有難う御座いました。」と返事が返ってきます。これも支援して下さった皆様方へのお礼だと私達は思っています。

《洗礼者教育》2p 写真 1

今年も3月から4月のイースターまでの約1ヶ月強の期間で「洗礼者教育」が毎週金曜日の午前10時半より行われています。今回は4人の兄弟達が洗礼を受ける予定です。4人の兄弟達は『洗礼を受け、神の子になりたい』という強い意志と希望を持って教育に望まれています。毎週金曜日の教育の日は欠席する事無く、1時間の講義を真剣に受講されています。尚、1人のひとは、今健康状態が良くない為、先生方が家庭訪問され、洗礼者教育を行なわれておられます。その人は、イースターの時は必ず教会に行つて「洗礼を受けたい」と言われているそうです。私達はその人の為、又、受講している3人の人々の為に毎日の朝、夜とお祈りしています。

『4人の人達が洗礼を受け、晴れて神の子となる様』にと……

《金曜炊き出し・衣類配布会》2p 写真 24

毎週、金曜日には野外(西成公園)で、ジャンボお握りと味噌汁を配布する炊き出し会を行っています。その日は早朝より準備に掛かり、お米45kg程を使用し、ジャンボお握りを毎回250個程、奉仕者の皆様と共に作ります。お握りを作る時は支援者の皆様方の1人1人を覚えお祈りしてから始め、皆様方に感謝しながらお握りを作っています。そして、作業終了後は全員で賛美歌を歌い、炊き出しの場所へ出向きます。又、炊き出しと同時に皆様から頂いた衣類を配布する週もあります。今年のように寒さが厳しい時などは、自分の求めたい物を手に入れて満面の笑顔で私達に御礼を言ってくれます。本当に支援者の方々に心から感謝します。これからも暖かいご支援を御願い致します。

《越冬対策夜回り》2p 写真 7

今回も路上生活をしている人達の為の夜間パトロールを昨年の11月から今年の3月末まで行いました。このパトロールは毎週金曜の夜、8時半からお握り・味噌汁そして、皆様から支援していただいた毛布・カイロ・衣類等を車に乗せ、所定の場所に行っています。配布すると、「ありがとう、助かるよ。」と、暗く沈んでいた顔が一変して明るい顔になり、弾んだ感謝の声が返ってきます。また時には寝袋を配って路上生活者を支援するボランティア団体と連携して寝袋も配ります。そして、パトロール時には、健康状態のチェックもしつつ、どうしても路上でその晩に眠れない程、衰弱している兄弟がいたら福祉相談をし「愛の家」の宿舎を提供する場合もあります。尚、配布している毛布・カイロ・衣類等は全国の多くの支援者から送って頂いた品物です、大変感謝致しております。これからも、暖かい御支援をお願いします。

《シオン合唱団コンサート》2p 写真 5

今年も昨年に続き、4回目となるシオン合唱団のコンサートが3月27日(木)行われました。このシオン合唱団は野宿者・失業者の皆さまに伝道集会を通してイエス様の愛を賛美によって伝える為、毎年訪問して下さいます。当日は、通常の伝道集会ではなく、合唱団の美しい歌声をメインに、讃美歌から日本の童謡まで数多くの曲が唄われました。そして、礼拝堂には美しい歌声がいっぱいに響き渡っていました。最後の方では、参加した失業者の皆様と一緒に「故郷」を始め「春の小川」等、日本の童謡を皆と一緒に合唱し、素晴らしい伝道集会となりました。尚、当日は韓世一牧師(神戸教会)がメッセージを語って下さいました。この素晴らしいコンサートと説教によって参加された野宿者がイエス様の愛と恵みを受け、一人でも多く「イエス・キリスト」を信じる事が出来るように合唱団の皆様と共に祈りしています。

奉仕者の声

『なぜ神様はこの地に私を招かれたのか、
と日々問いながら』

清水のぞみ 師母
(浪速教会「愛の家」副牧師夫人)

私が浪速教会、愛の家のある西成区と出会ったのは大学2年生になる春休み、ある研修の、釜ヶ崎へのフィールドワークでのことでした。当時スカートをはいて現場に行こうとする私に先輩から「ほんまにスカートでいくの？」との声かけ。その言葉に意味もわからず、「はあ…だめなんですか」と答えたことでした。

初めての釜ヶ崎は強烈な印象でした。あいりん労働福祉センター周辺を案内してもらって帰ってきたもの

の、公衆トイレの水道で体を洗った人、叫んでた人など、短時間であったにもかかわらず、日本にこんなところがあるなんて、というくらいびっくりしました。それから釜ヶ崎の研修生仲間にさそわれるまま越冬夜回りに参加。釜ヶ崎の社会的背景をなんとなく勉強したものの、自

分のとりくむべき問題とまでは考えられず、寒さで人が死んで、道で死んじゃうって、それはだめだろう、ただその気持ちだけでの行動でした。最後に夜回りに参加したのが2005年。7年たってまさか西成区に住むことになるとは、考えもしませんでした。

2012年、家族で西成に引越し、夜回りしたあいりん地区とその周辺の問題を知っているがゆえに、「わが子を育てる」環境ではない、と本当に不安でいっぱいだったスタートでした。なぜ神様はこの地に私を招かれたのだろうか、と問う毎日でした。でも浪速教会の方たちや地域の方々に温かく迎えていただいて、はや2年。子どもたちも地域に馴染み、夫も日本語が上達してなんとか教会に用いられているようで感謝です。



この2年間、子どもが小さいこともあって教会には礼拝をささげに行くだけで、大事な奉仕にはほとんどノータッチでした。ただただ教会の方々の話を伺い、また教会を導かれる金鐘賢牧師、姜貞淑師母ご夫妻の神様から任された仕事にとりくまれる姿を拝見するばかりでした。でもその姿にインドにはマザーテレサ、西成区には金ご夫妻というくらいの感銘を受け、愛情深く信仰深い方々と信仰生活を共にできることを感謝しております。

金牧師が釜ヶ崎の失業者への思いを「今まで苦勞されてきた人生、残りの人生は神様の愛の中で、暖



かい家でゆっくりすごしてもらいたい。」と何度かおっしゃったことが印象に残っています。今までの苦勞を神



様は全てご存知だから、残りの人生はすべてお任せすればいい。その向こうには必ず、平安と平和があるのだから。

そう思いながら私も失業者の方たちが神様の愛に気づきますように教会へ繋がられますようにと祈っています。

この春から末っ子が保育園に入所することになりました。ずいぶん長い時間がかかってしまったのですが、私もいよいよ浪速教会の家族として、木曜礼拝や、炊き出しに用いられたいと願っています。それは底辺におかれた、小さくされた者のなかにおられるイエス様と出会うのではないかという不安と期待、両方の気持ちがあります。でも、私も恐れずに、神様から与えられた使命を果たしていけますように、そしてその先に問いの答えを見つけることができますようにと祈っております。

奉仕者の声 『挫折からの復活』

高山加古六執事
(浪速教会「愛の家」信徒)



私は 2010 年のクリスマスに浪速教会で洗礼を受けました。西成に辿り着くまでは、田舎である宮崎で小さな新聞社の記者をしていました。西成で野宿生活をしながら色々な教会の炊き出し

を回っている時に、友人から浪速教会の存在を聞き、それから通うようになりました。しかし、洗礼を受けてから間もなく、2012 年 4 月に教会や家族の事など色々な出来事が度重なり、教会を離れてこの世でさまよい始める事となりました。

自尊心を傷つけられてこの世に出た私を誘惑したのはサタンでした。酒飲みだった私は、洗礼後に一切のアルコールを断っていました。でも、サタンは私に飲み始めるように仕向けました。飲みだすと止める事ができない私は3軒くらい梯子しては飲み続け、またカラオケも大好きで歌っていました。そして自分の最後である優秀の美を飾るにはどうすれば良いか・・・と考えながらちょこちょこ仕事をする毎日でした。

時々、教会の人たちと商店街などですれ違う時、声をかけてくださって嬉しかったです。その半面で素直に教会へ戻る事ができませんでした。Tさんは元々お医者さんだったにも関わらず、自分の身を低くして弱い人たちに熱心に仕えている事を思い出しては尊敬の念を抱いたりもしました。

ある日、電子レンジの引き取り手を探す仕事をしていた時に、体に異変を感じました。街中でレンジを持って歩いていると転びました。「起きて少し休めば大丈夫だろう」と思い 15 分ほどして5m ほど歩くと又倒れました。次は 10分くらい休んでから再び体を起して15m ほど歩くと 3 度目、また倒れました。今度は起きようとしても起きられず、声を出そうとしても出

ませんでした。冷汗も出てきたりと何が何なのか分かりませんでした。「イエス様—！」と心の内で叫びました。病院へ運ばれると心筋梗塞と脳梗塞の併発でした。それ以来、入院中も手術前もベッドの上で懸命に祈りを主に捧げました。そして分かったのです。私は自分自身を捨ててくる事ができていなかったのだという事を。私は生かされました。そしてこの命がある限り、使徒パウロ先生のようにできれば、「自分を捨てて私についてきなさい」という御言葉に従う事ができればと思いました。

退院後しばらくは足もおぼつかずに自転車に乗れず、言語障害もありました。しかし、自分が病で不自由があるからこそ、同じように不自由な人の想いに寄り添い仕えたいと考えました。そこで心臓が弱まり電動車いすで通う信徒の送迎に付き添い始める事にしました。当初は自分のリハビリも兼ねの事でした。完璧とは言えませんが現在ではあまり不自由なく生活ができる程にまで回復しました。

また、新聞記者時代に積んだコミュニケーション能力を活かして、数人を伝道し受洗まで導く事もできました。全ては私の前にはパウロ先生の模範があります。

「自分を捨てて身を低くする。全ては神の導きと贖いのため」

田舎にいる家族にも神様を信じる者が数人います。主が導いてくださった一人一人との繋がりを大切にこれからも献身していきたいと思います。



第17回「愛の家」運営委員会

◇ **日時**：2014年4月15日(火) 午後2時

◇ **場所**：浪速教会堂

◇ **運営委員**：

森田幸男、李清一、金安弘、森優紀慶（横山辰哉）、
金鐘賢、全聖三、朴栄子、金武士、伊藤友彦、崔春子（関
西地方会社会部）、李相勁（西部地方会社会部）、李恵慶
（関西地方女性会社会部）、大木正典、森元孝、梁守延、
金鍾権

◇ **組織**

共同委員長：森田幸男、李清一

総務：金鐘賢

書記：大木正典

財政部：部長-森元孝 大木正典 崔亨喆

宣教科：部長-朴栄子 金武士 金鍾権

協力部：部長-全聖三 李清一 李相勁

奉仕部：部長-李恵慶 森田幸男、梁守延

広報部：部長-森優紀慶 伊藤友彦、金鐘賢

監査：金武士 伊藤友彦

◇ **案件**

1. 2013年度決算、2014年度予算案
2. 事業報告及び事業計画

この人 高山 加古六執事

名前は高山ですが背の低い高山加古六執事(69歳)を紹介
します。彼は宮崎出身で元地方新聞記者、波乱万丈の人生を
歩んで来た人であります。私達「愛の家」の働きの為なら何
でも協力してくれる信徒の一人であります。私達は彼を信仰
に導き困った時、助けた事がありました。しかし、今は彼に
逆に励まされ、力づけられています。彼は気軽に声をかけや
すい人で何か言ったらすぐ聞いてくれる、そして、痛みを分
かち合ってくれる人です。彼が1年半位、ある事情で
教会を離れていた時、私は彼を教会に連れ戻そうとして探し
回りましたが中々探す事ができず、その後連絡が取れなくな
りました。するとある日、一本の電話がかかって来て、彼の
声でありましたが、泣き声でまともに話せない状況で『入院
している』と言ってきたのです。それで私はすぐ病院に駆け
つけて行き再会すると、私達は互いに涙で、今までの色々な
事を話し合い再会を喜び合いました。彼によると彼も私達の
電話番号を必死に友達に聞きまわり、私を探していたみたい
です。でも、彼は自ら教会に帰って来ました。これも、神様
の恵みと思っております。今、彼も病気が治ってきていま
すがまだ完全ではありません。でも、力の限り協力し人に仕え
ようとしています。自分より他人を大切にする人で、誰でも
彼と話し合ったら友達になります。そして、いつも明るく笑
顔をたやさない人で、私はもちろん彼の働き、存在によって
今は多くの仲間が力を貰っています。毎日集会ごとに体の不
自由な竹本直行さんの車椅子を引いてくれる彼の奉仕に皆
が感動しています。(金鐘賢牧師)



「愛の家」会計決算書(2013.4～2014.3)

収入	13予算	13決算	備考
定期後援会	1,000,000	662,000	
一般後援会	1,500,000	1,955,559	
クリスマス献金	1,000,000	746,244	
食事献金	2,000,000	2,290,243	
総会支援金	500,000	500,000	
御米献金	300,000	291,455	
小計	7,060,000	6,445,501	
繰越金	717,650	717,650	
合計	7,777,650	7,163,151	

支出			
事務・備品費	730,000	395,598	
交通費	100,000	13,030	
車両維持費	300,000	0	
奉仕者支援金	1,500,000	1,513,000	
研修費	150,000	0	
御米代	1,000,000	1,010,770	
副食費	2,900,000	2,812,871	
会議費	30,000	14,000	
修理施設費	50,000	0	
愛の家建築積立金	800,000	500,000	
救済費	50,000	0	
予備費	167,650	30,000	
小計	7,777,650	6,289,269	
繰越金		873,882	
合計	7,777,650	7,163,151	

「愛の家」建築会計決算書(2013.4～2014.3)

収入	13予算	13決算	備考
建築献金(国内)	3,000,000	1,185,065	
建築献金(海外)	3,000,000	0	
アルミ集会献金	200,000	174,406	
教会建築積立金	400,000	1,160,000	
愛の家築積立金	1,000,000	500,000	
地方会支援金	600,000	600,000	
福祉部屋献金	3,400,000	2,140,000	
福祉部屋積立金		1,000,000	
受け取り利子		127	
小計	11,600,000	6,759,598	
繰越金	2,284,420	2,284,420	
収入合計	13,884,420	9,044,018	

支出			
銀行融資返済金	9,000,000	3,857,328	
エコロフ融資返済金	2,060,000	2,010,000	
リフォーム工事代	500,000	301,772	
募金交通費	400,000	0	
諸経費	200,000	0	
福祉館会計貸出金		500,000	
予備費	1,724,420	0	
小計	13,884,420	6,669,100	
繰越金		2,374,918	
合計	13,884,420	9,044,018	

負債現況(2014年3月31日現在)

教会堂「愛の家」センター建築

銀行融資金 11,348,000 円

エコロフ融資返済金 0 円

合計 11,348,000 円



路上生活者支援のための 献金のお願ひ



桜の花が咲いている道を歩くのが楽しくなる春が訪れました。散りかけていてもまだまだ美しい桜の花を見ると冬の間疲れていた身も心も慰められ癒されます。

皆様のご支援に助けら「愛の家」越冬支援活動も3月末で終わり今はいつもの活動に戻りました。

「愛の家」は、4月から2014年度の事業が始まります。1年間皆様のご支援を賜り週3～4回の集会和炊き出しを守り、路上生活者への支援活動を行うことが出来たことを心より感謝致します。皆様のご支援のお陰で西成釜ヶ崎地域において私達「愛の家」の炊き出しは「腹いっぱい食べれるし、一番旨い」と言われております。私達は今年も路上生活者の皆さんに愛され喜んで貰える活動をさせて頂く事を願っております。

昨年から私達「愛の家」の活動は国内外の新聞やメディアにも紹介されております。私達の活動が多くの人々に知られるようになり厚い信頼と評価を受けております。私達はこれからも変わりなく「小さき者一人ひとりにしたことはイエス様にしたことである」とのイエス様の教えに従い一人ひとりに忠実に仕えて行きたいと思っております。

現在、私たち「愛の家」炊出しは週3回実施にしております。金曜炊出しには約150～200人が来られ、日曜礼拝や木曜集会にも約100人が来られます。

現在、毎週炊出し費用として89,000円が支出されています。

(お米130kg・39,000円、副食費50,000円、合計89,000円)

2013年度クリスマス献金には多くの支援者の皆様が協力して下さり心より感謝致します。新春と共に間もなく主イエス・キリストの復活を喜び祝うイースターを迎えます。イエスの愛が社会の一番苦しく貧しく生きている一人ひとりにも伝えられるようにもう一度イースター献金へのご協力をお願い致します。

「愛の家」事業：金曜炊き出し、木曜集会と食事、日曜礼拝と食事、散髪奉仕、共同生活、シャワサービス、聖書勉強会、福祉相談、福祉館運営、冬季夜間パトロール、生活用品収集分配

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、定期後援：毎月1000円以上

◇ 衣類、生活用品、食材、お米を送って下さい。

郵便振替：00930-0-299392 在日大韓基督教会 浪速教会

送り先：〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、Fax 6561-4709

E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2014年4月



在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」

共同委員長 森田 幸男 牧師

共同委員長 李 清 一 牧師

総 務 金 鐘 賢 牧師

献金者お名前(敬称略・順不同)

(2013年4月～2014年3月)

定期後援金: 大阪北部教会女性会、横浜長老教会、洲本チャペル、石井洋二、豊中第一復興教会、大阪東南教会、金鐘賢・森元孝・金英姫、古川富也・知恵子、野津道代、大木正典、澄川満喜子、金景淑、崔和植、匿名

一般後援金: 堺清水橋教会、洲本チャペル、帯広教会、南浦和教会、池田教会、女子御受難会、メダデ教会、在日大韓基督教会総会、関西地方教会女性連合会、西部地方会社会部、西宮弟子教会、東京磐石教会、武庫川教会聖歌隊、大阪教会有志、大阪教会女性会、大阪教会女性会社会部有志、布施教会青年会、大垣市内信徒会、沖縄教会、韓国大邱家庭委託支援センター、韓国テヨン教会、金恩順、姜貞淑、韓国ソウル使徒教会、韓国眞木教会、韓国所望教会、韓国東豆川ソネ教会、韓国金浦ワールドビジョン教会、韓日文化フォーラム、ダビデの世代宣教会、MIO 介護会社、ザ・フロンティアーズ、YWAM、浜家幸太郎、金柄鎬、李光世、澄川満喜子、上田一郎、崔スイル・權ヨニム、金景淑、川上静子、齊藤勇男、伊東賢和、チェスジョン、金鐘賢、金正淑・信基、崔ジヘ、塩野淳子、金在一、崔修永、鄭ジョンヒ、森生ともえ、吉村彰一、高松牧人、許清子、大木正典、丘圭希、ソンナムヒ、水野由記夫、ジンソルリョン、全キヒョ、朴栄子、金ヘギョン、佐藤信、田部郁彦、井上のぞむ、島村教子、佐藤栄一・悦子、宮澤玲子、金信基、一木千鶴子(高石教会)、金キョンイル・朴ヒョンヒ、宋ヨンミ、匿名

クリスマス献金: 大阪東南キリスト教会、洲本チャペル、大阪北教会、大阪姫松教会、西宮中央教会、横浜海岸教会、名東教会、滝川教会、南浦和教会、苫小牧教会、茅ヶ崎東教会婦人会、伊達教会、福岡城南教会、大垣教会、吉田教会(教会と社会委員会)、蒲田御園教会、小樽シオン教会、日土教会、横須賀教会、都島教会、武庫川教会女性会、豊中第一復興教会、神戸教会、長野教会、広島教会女性会、博多教会、神戸教会女性会、西部地方会女性連合会、広島教会、武庫川教会、武庫川教会聖歌隊、大阪西成教会、西宮キリスト弟子教会、布施教会中高部、布施教会キャロル隊、向上社保育園、京都教会、関西韓国 YMCA、ホサナ教会、メダデ教会、上田一郎、島内敏子、田部郁彦、井上一雄、宮澤玲子、岡山教会、久保安子、高英順、金賢夏、柏木教会、森田幸男・孝子、伊藤友彦、堺教会、崔英淑、久保賢太郎、川上静子、金鍾権、伊東賢和、金順尹、崔スジョン、崔スヨン、崔ジヘ、角野、匿名

建築献金: 関西地方会、韓国原州市民教会、眞木教会、韓東大学HDS宣教チーム、洲本チャペル、韓国大邱中誠教会、韓国亀尾市民教会、金鐘賢・姜貞淑、金斗賢・善栄、河野行秀、山本覚、大木正典、竹内清、吉見真希、森元孝・金英姫、申容燮・清水のぞみ、久保賢太郎、佐藤栄一・悦子、井上豊、古川富也、森田幸男・孝子、山下博行、野津道代、金吉雄、石橋雅子、山崎雅代、匿名

お米、お米献金: 大阪北教会、大阪東南キリスト教会、洲本チャペル、京都教会女性会、関西フードバンク、布施教会青年会、神戸布引教会壮年会、武庫川教会有志、京都南部教会、女子御受難会(松井晴美)、グッドサマリタン教会、久保賢太郎、古川富也、宮澤玲子、田部郁彦、小林勝、島内敏子、山本覚、金鐘賢、吉見真希、ミオ介護サービス、森元孝・金英姫、金信基、星野新作、清水佐代子、山崎悦子、フードバンク大阪、匿名

「愛の家」センター 建築ニュース



2014年4月7日(月)「愛の家」スタッフ、信徒皆で花見に行ってきました。まだ桜の花は綺麗に咲いていました。『桜』は冬が過ぎ春の訪れを告げる印でありますから、路上生活して来た兄弟達もやっと安心して生きていける事と思います。

「愛の家」は4月から会計や事業が始まります。2013年4月から2014年3月まで皆様のご支援を頂き2007年建築当り5,000万円あった借金が今現在850万円まで減りました。

皆様の建築献金へのご協力、心より感謝致します。

私達は2015年までに「愛の家」センター建築借金返済が終わるように願っております。

2015年度まで建築負債の返済が終わり、路上生活者へ宣教支援活動に専念して取り組むことが出来るように建築献金へのご協力お願い致します。



「愛の家」建築負債現状

(2014年4月1日現在)

負債	11,348,000 円
ー残金	2,874,918 円
実際の負債	8,473,082 円

皆の力で

愛の家センターを共に支えましょう!!

国内募金目標額: 500 万円

☆建築献金をお願い致します。

- ①年1口 5000 円以上 ②毎月1口 1000 円以上
- ③各教会、団体、組織別の建築献金
- ④遺産の寄付

発行責任者 金鐘賢・森優紀慶

発行所 「愛の家」広報部

〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3

浪速教会「愛の家」内

TEL 06-6561-4712(教会)

FAX 06-6561-4709(教会)

E-mail: ainoie@msn.com

ホームページ: www.ainoie.org

郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会

00930-0-299392